

大崎市公共交通に関する提言書（案）に対するパブリックコメントの実施状況について

○実施期間：令和8年1月9日（金）～1月28日（水）

○意見及び提案者数：2人

No	意見の種別	意見の内容	意見などに対する市議会の考え方
1	公共交通全般	公共交通機関で出かけることは生涯学習や健康増進につながります。会議の移動などにタクシーを取り入れてみたりし、敷居の高い乗り物とまらない工夫もどうか。地域にある手段や利用方法を知ることにもつながります。利用したことがない、しばらく利用してない方も多いと思います。	公共交通の利用が生涯学習や健康増進につながることで、また、タクシー等の活用を含め公共交通をより身近にする工夫や、利用方法の周知が重要との御指摘は、利用促進の観点から大切な視点であります。 本提言（案）では、公共交通の利便性向上と利用促進に向け、分かりやすい予約・情報提供等のデジタル技術の活用や、補完的交通手段の検討等の方向性を示しております。 なお、本提言（案）については、頂いた御意見の趣旨を含んでいることから、原案のとおりといたします。
2	鬼首地区の公共交通	現在、鬼首地区には地域内交通が1台、市営交通が2台、そしてスクールバスが走っております。これらが別々の縦割り行政で運営されていることに不便と不満を感じ先進地を見て回りました。住民と学生、そして観光客も乗れる地域の足を実現している地域もあるのに、どうして大崎市は実現できないか不思議に思っております。地域のことは地域を知る人材で実現させること	頂いた御意見は、鬼首地区における地域内交通、市営交通、スクールバス等が個別に運用されていることによる不便さや、住民・学生・観光客も利用できる地域の移動手段の必要性、また地域の担い手(NPO等)を生かした運営の可能性を示す重要な御意見と受け止めます。 人口減少と担い手不足が進む中で公共交通を持続可能な形で維持するためには、運行資源(人員・車両)の制約も踏まえつつ、関係主体間の連携による効率化や運行の最適化、制度面を含めた実現可能性の検証が不可欠であり、頂いた御意見は重要なものと認識しております。

	<p>が行政の使命でもあり大事なことを考えます。</p> <p>鬼首地区には市の仕事もしている NPO 法人山学校があります。この組織を利用し地域の足を作り、まもなく子供ゼロの地域になる前に私は実現してほしいと願ってやまない者です。</p>	<p>本提言(案)では、地域全体の移動ネットワークの効率化を図ることとあわせて、学校の登下校におけるスクールバスの活用など柔軟な運行を実施すること、また行政・事業者・市民等が参画する横断的な枠組みの検討、デジタル技術活用による利便性向上等の方向性を示しております。</p> <p>なお、本提言(案)については、頂いた御意見の趣旨を含んでいることから、原案のとおりといたします。</p>
--	--	--